

第3回審議会資料からの修正事項

資料3

項	前回会議資料	最終稿	対応
全体	活かす、あわせて、こども	表記ゆれの統一 「活かす」→「生かす」、「あわせて」→「合わせて」、「こども」→「子ども」	変更
目次		【用語集および※印について】 本文中では、専門的な用語や分かりにくい用語について、最初に登場する箇所だけに※印を付しています（2回目以降は※印を付していません）。 ※印の付いた用語は、本編巻末の「用語集」に用語解説及び初出ページを記載しています。用語の意味や背景を確認される際は、本文中の※印から用語集を参照してください。	追加
基本計画		SDG s 該当番号の追加	追加
2	本町では、将来における町のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針として、	本町では、将来におけるまちのあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針として、	変更
2	本町は、令和3（2021）年3月には「第6次忠岡町総合計画」を策定し、	本町は、令和3（2021）年3月に「第6次忠岡町総合計画」を策定し、	削除
2	本計画では、これまでの施策・事業の成果を検証したうえで、時代や社会の潮流に沿った見直し・強化を行い、住民と行政が協働しながら、住民一人ひとりが、子育て期から高齢期まで、安心して暮らし続けられる生活環境と地域支援が行き届いた町の実現をめざして施策を推進します。	本計画では、これまでの施策・事業の成果を検証したうえで、時代や社会の潮流に沿った見直し・強化を行い、住民と行政が協働しながら、住民一人ひとりが、子育て期から高齢期まで、安心して暮らし続けられる生活環境と地域支援が行き届いたまちの実現をめざして施策を推進します。	変更
2	本計画は、本町の全ての計画の指針となる最上位計画と位置づけます。また、地方創生の観点から実効性の高い計画とされる「総合戦略」との関係が深いことから、引き続き、「基本計画」	本計画は、本町の全ての計画の指針となる最上位計画と位置づけます。また、地方創生の観点から実効性の高い計画とされる「総合戦略」との関係が深いことから、改訂前と同様に、「基本計画」	変更
3	本町の将来像を明確にし、これを達成するために必要な施策の大綱を示すもの。	まちの将来像を明確にし、これを達成するために必要な施策の大綱を示すもの。	変更
3	町の将来像	まちの将来像	変更
3	●町の将来像を実現する施策・事業	●まちの将来像を実現する施策・事業	変更
5	国は平成26（2014）年に「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、地方創生の長期ビジョンと総合戦略の下、人口減少の克服と地域活力の維持に向けた取組を推進しています。各自治体でも、若年層の移住・定住支援、副業・兼業の促進、農林水産業のブランド化等、地域資源を活かした施策が広がっています。	国は、平成26（2014）年に「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、地方創生に関する長期ビジョン及び総合戦略の下、人口減少の克服と地域活力の維持・向上に向けた取組を推進してきました。これを受け、各自治体においても、若年層の移住・定住の促進、副業・兼業の推進、農林水産業のブランド化等、地域資源を生かした取組が進められてきました。	変更
5	また、令和4（2022）年には「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定され、デジタル技術を活用したサービスの向上と社会課題の解決が進められています。さらに、令和6（2024）年には「地方創生2.0」が掲げられ、あらゆる関係者が知恵を出し合い、地域主導での創生を強化する方針が打ち出されました。	その後、令和4（2022）年には「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が策定され、デジタル技術を活用した住民サービスの向上や社会課題の解決に向けた取組が進められてきました。さらに、こうした流れを継承・発展させる形で、近年の地方創生に関する総合的な戦略においては、地域の稼ぐ力の強化や人材の確保・育成、関係人口の創出等を通じ、地域が主体となった持続的な発展を図る考え方が示されています。	変更
6	また、地方自治体においては、「2050年カーボンニュートラル」に向けた行動計画の策定と実行が求められており、	また、自治体においては、「2050年カーボンニュートラル」に向けた行動計画の策定と実行が求められており、	削除
9	また、社会増減（転入数と転出数の差）を見ると、年ごとに増減はあるものの、近年は社会増に転じており、令和5年は69の社会増となっています。	また、社会増減（転入数と転出数の差）を見ると、年ごとに増減はあるものの、近年は社会増に転じており、令和5年は69人の社会増となっています。	追加

項	前回会議資料	最終稿	対応
19	温室効果ガス総排出量を見ると、平成28年度の1,781,961kg-CO2から減少傾向で推移し、令和4年度は1,562,563kg-CO2と平成28年度の12.3%減となりました。本町では、町の事務及び事業に伴い直接的及び間接的に排出される温室効果ガスの総排出量を、令和12(2030)年度までに989,700 kg-CO2とすることを目標としています。資料：第5次忠岡町地球温暖化対策実行計画【参考】参考として、区域施策編に基づく町全体の二酸化炭素排出量について、部門別の排出状況を下図に示す。	温室効果ガス総排出量を見ると、平成25年度の120,010t-CO2から減少傾向で推移し、令和4年度は90,691t-CO2と平成25年度の約24.4%減となりました。本町では、温室効果ガスの総排出量を、令和12(2030)年度までに63,673t-CO2とすることを目標としています。	変更
35	94.0%	95.1%	変更
44	今後、現行の取組を着実に継続することを基本に、商工業・地域産業への支援として、補助金及び相談体制の整備を地域経済の安定と活性化に資する取組として、今後も支援を継続します。また、雇用・人材育成に関する施策では、資格取得支援や就労支援事業が実施され、地域における就労機会の拡大に向け、今後も包括的な雇用支援施策として継続実施を図ります。	今後、現行の取組を着実に継続することを基本に、商工業・地域産業への支援として、補助金及び相談体制の整備を地域経済の安定と活性化に資する取組として、支援を継続します。また、雇用・人材育成に関する施策では、資格取得支援や就労支援事業が実施され、地域における就労機会の拡大に向け、包括的な雇用支援施策として継続実施を図ります。	削除
47	「町の将来像」の実現に向けて各種施策を推進することにより、出生数の増加による合計特殊出生率の上昇と、転出抑制・転入促進の効果が生まれることを見込み、次のとおり、目標人口を設定します。	「まちの将来像」の実現に向けて各種施策を推進することにより、出生数の増加による合計特殊出生率の上昇と、転出抑制・転入促進の効果が生まれることを見込み、次のとおり、目標人口を設定します。	変更
47	6,376	6,377	変更
47	12,525	12,526	変更
48	改訂前基本計画の基本構想による施策体系により、町の将来像の実現に向けた施策を展開するとともに、SDGsの視点も取り入れた持続可能なまちづくりを推進します。	改訂前基本計画の基本構想による施策体系により、まちの将来像の実現に向けた施策を展開するとともに、SDGsの視点も取り入れた持続可能なまちづくりを推進します。	変更
48	重点プロジェクト3 交流・関係人口拡大による地域魅力の向上	重点プロジェクト3 交流・関係人口拡大による地域の魅力向上	変更
50	2,225	2,788	変更
53	増加	105	変更
53	子育てに関する各種教室参加者数(延人数)	子育てに関する各種教室参加者数(延べ)	変更
53	・泉大津市医師会や高石・忠岡地区歯科医師会等と連携を図りながら、妊娠・乳幼児に対する健康診断や各種教室、健康相談等の支援体制を充実し、疾病・障がいの早期発見に努め、安心して産み育てることができる母子保健の取組を進めます。	・泉大津市医師会や高石・忠岡地区歯科医師会等と連携を図りながら、妊婦・乳幼児に対する健康診断や各種教室、健康相談等の支援体制を充実し、疾病・障がいの早期発見に努め、安心して産み育てることができる母子保健の取組を進めます。	変更
53	・成長に合わせて、食育、命の大切さや性教育といった内容について、子どもと保護者への教育・意識啓発を推進します。	・成長に合わせて、食育や命の大切さに加え、身体や心の尊重、人との関係性、ジェンダーへの理解等を含む性に関する学びについて、子ども及び保護者への教育・意識啓発を推進します。	変更
55	子育て支援センターでの各種講座への参加者数(保護者、子ども)	子育て支援センターでの各種講座への参加者数(保護者、子ども)(延べ)	追加
57	児童館使用者数	児童館使用者数(延べ)	追加
57	見守り隊等延参加者数	見守り隊等参加者数(延べ)	変更
57	・各種青少年育成団体(青少年指導員協議会、すこやかネット、少年団育成者協議会等)の活動支援を行うとともに、資質向上のための支援体制を整備します。	・各種青少年育成団体(青少年指導員協議会、すこやかネット、少年団育成者連絡協議会等)の活動支援を行うとともに、資質向上のための支援体制を整備します。	追加
58	介護予防のための教室利用者数	介護予防のための教室利用者数(延べ)	追加
58	総合福祉センター及び東忠岡老人いきいの家	総合福祉センター及び東忠岡老人いきいの家新規利用登録者数	追加
58	利用者数	総合福祉センター及び東忠岡老人いきいの家利用者数(延べ)	追加
58	福祉バス利用者数	福祉バス利用者数(延べ)	変更
58	●立地適正化計画	●忠岡町立地適正化計画	追加
59	障がい者社会参加促進総合事業 延参加者	障がい者社会参加促進総合事業参加者数(延べ)	変更
61	住民が日々の健康づくりや介護予防を通じて、それぞれのライフステージにおいて、誰もがいきいきと、健康に暮らし続けています。	住民誰もがそれぞれのライフステージにおいて、日々の健康づくりや介護予防を通じて、いきいきと健康に暮らし続けています。	変更
61	健康教室等参加人数	健康教室等参加者数(延べ)	変更
63	国民健康保険料収納率	国民健康保険料収納率(現年)	追加

項	前回会議資料	最終稿	対応
63	介護保険料収納率 ↓	介護保険料収納率（現年）	追加
63	後期高齢者医療保険料収納率 ↓	後期高齢者医療保険料収納率（現年）	追加
64	多文化共生（国際交流・人権・男女・平和）イベントの参加者数	多文化共生（国際交流・人権・男女・平和）イベントの参加者数（延べ）	変更
66	防災訓練等参加者数 ↓	防災訓練等参加者数（延べ）	追加
68	町民文化祭の来場者数 ↓	町民文化祭の来場者数（延べ）	追加
68	正木美術館入館者数 ↓	正木美術館入館者数（延べ）	追加
69	文化会館クラブ活動状況（延実施回数）	文化会館クラブ活動実施回数（延べ）	変更
69	文化会館クラブ活動状況（在籍者数）	文化会館クラブ在籍者数 ↓	削除
69	生涯学習プログラムの参加者数	生涯学習プログラムの参加者数（延べ）	追加
69	スポーツイベント参加者数 ↓	スポーツイベント参加者数（延べ）	追加
69	コパンスポーツセンター忠岡利用状況(延人数)	コパンスポーツセンター忠岡利用者数(延べ)	変更
70	・雨水管整備や雨水ポンプ場の耐水化等により内水氾濫の軽減を図るとともに、道路・公園等のインフラは浸水・倒壊・火災等の機能維持に努めます。 ↓	・雨水管整備や雨水ポンプ場の耐水化等により内水氾濫の軽減を図るとともに、道路・公園等のインフラは浸水・倒壊・火災等の発生時にも機能維持できるように努めます。	追加
73	1,000人当たり飲食店数の割合	1,000人当たり飲食店数 ↓	削除
76	・持続可能なごみ処理をめざし、（仮称）地域エネルギーセンター等整備・運営事業公民連携協定に基づくごみ処理事業を着実に推進します。	・持続可能なごみ処理をめざし、（仮称）地域エネルギーセンター等整備・運営事業公民連携協定に基づくごみ処理事業を推進します。 ↓	削除
77	74,108	73,615	追加
78	・町の起業・創業支援事業補助金の活用を促し、創業期の費用負担を軽減します ↓	・町の起業・創業支援事業補助金の活用を促し、創業期の費用負担を軽減します。	追加
84	国の「地方創生2.0」では、地域の「稼ぐ力」の向上、人材の確保・育成、デジタル技術の活用、多様な関係人口の創出等を通じて、地域が自立的・持続的に発展していくことが重視されています。	国が策定した「地方創生に関する総合戦略」では、これまでの地方創生の取組を継承・発展させつつ、地域の稼ぐ力の向上、人材の確保・育成、デジタル技術の活用、多様な関係人口の創出等を通じて、地域が自立的・持続的に発展していくことが重視されています。	変更
84	本町においても、産業・雇用の振興、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり、町内外との多様なつながりの創出、安全・安心で暮らし続けられる地域づくりを一体的に推進していくことが重要な課題となっています。 ↓	本町においても、こうした国の方向性を踏まえ、産業・雇用の振興、結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり、町内外との多様なつながりの創出、安全・安心で暮らし続けられる地域づくりを一体的に推進していくことが重要な課題となっています。	追加
84	◇こうした時代の潮流と本町の特性を踏まえ、国が掲げる「地方創生2.0」のめざす姿である「強い経済」「豊かな生活環境」「新しい日本・楽しい日本」	◇こうした時代の潮流と本町の特性を踏まえ、国の「地方創生に関する総合戦略」がめざす	変更
84	との整合を図りながら、次の4つの重点プロジェクトを設定します。 ↓	方向性との整合を図りながら、次の4つの重点プロジェクトを設定します。	追加
84	【参考】 ↓	【参考】 「地方創生に関する総合戦略」においても、「地方創生2.0基本構想」の基本姿勢・視点に基づき、関連施策を展開することとしています。	追加
85	重点プロジェクト3 交流・関係人口拡大による地域魅力の向上	重点プロジェクト3 交流・関係人口拡大による地域魅力の向上	変更
88	重点プロジェクト3 交流・関係人口拡大による地域魅力の向上	重点プロジェクト3 交流・関係人口拡大による地域魅力の向上	変更
88	ふるさと納税寄附件数（延べ）	ふるさと納税寄附件数 ↓	削除
88	正木美術館入館者数 ↓	正木美術館入館者数（延べ）	追加
88	交流・関係人口拡大による地域魅力の向上	交流・関係人口拡大による地域魅力の向上	変更
91		資料編資料	追加